

鳥類 Birds

カワガラス
(スズメ目カワガラス科)
Cinclus pallasi



留鳥。平地から山地の石や岩の多い溪流で見られる。水に潜り、水生昆虫等を捕食する。

キセキレイ
(スズメ目セキレイ科)
Motacilla cinerea



留鳥。平地から山地の川・池・湖および隣接した開けた場所で見られる。

コシアカツバメ
(スズメ目ツバメ科)
Hirundo daurica



夏鳥。平地から山地にかけての開けた場所で見られる。岩場、橋桁、軒下等に集団で営巣する。

ハシブトガラス
(スズメ目カラス科)
Corvus macrorhynchos



留鳥。平地から高山、海岸、市街地、農耕地、樹林等、多様な環境で見られる。



オオタカ
(タカ目タカ科)
Accipiter gentilis



留鳥。主に鳥類を餌とするタカ。平地から山地の樹林、農耕地で見られる。

サンコウチョウ
(スズメ目カササギヒタキ科)
Terpsiphone atrocaudata



夏鳥。平地から低山の樹林。さえずりが「月(ツキ)日(ヒ)星(ホシ)ホイホイ」と聞こえることから三光鳥(サンコウチョウ)と名付けられた。

河川環境



留鳥とは…

同じ地域に一年中生息し、季節移動しない鳥のこと。

セグロセキレイ
(スズメ目セキレイ科)
Motacilla grandis



留鳥。河原、湖畔、河川の上流域でよくみられる。冬季には海岸でもみられる。

アオサギ
(ペリカン目サギ科)
Ardea cinerea



留鳥。体の上面が灰色の大型のサギ。湖沼、河川、水田、干潟等、水辺環境に広くみられる。

キジ
(キジ目キジ科)
Phasianus colchicus



留鳥。平地から山地の草原、農耕地、林縁、河原等で見られる。オスは「ケン、ケン」と特徴的な声で鳴く。

夏鳥とは…

春に日本より南の地域から渡ってきて日本で繁殖し、秋には南の地域に渡って越冬する鳥のこと。

樹林環境

シジュウカラ
(スズメ目シジュウカラ科)
Parus minor



留鳥。平地から山地の樹林、市街地の公園、庭等で一年を通してみることができる。

オオルリ
(スズメ目ヒタキ科)
Cyanoptila cyanomelana



夏鳥。低山から山地の広葉樹林・針広混交林で見られ、渡りの時期には平地の公園でもみられる。

アオゲラ
(キツツキ目キツツキ科)
Picus awokera



留鳥。平地から山地のよく茂った樹林で見られる。木に穴をあけ営巣する。

水田環境



草地環境



両生類・爬虫類・哺乳類

Amphibians, Reptiles and Mammals

カジカガエル
(無尾目アオガエル科)
Buergeria buergeri



河川上～中流域に生息する比較的大型のカエル。フイフイときれいな声で鳴く。繁殖期以外は樹林に生息する。

河川環境



アカハライモリ
(有尾目イモリ科)
Cynops pyrrhogaster

危険



平野から山地の河川の緩流部、溜まり、水田等に生息する。初夏に抽水植物等に1卵ずつ産卵する。

河川～水田環境

注意

皮膚の毒が目に入ると失明の危険性も。

注意

触ったり叩いたりしようとすると毒歯で咬んできます。見つけても近づかずそっとおきましょう。

トノサマガエル
(無尾目アカガエル科)
Pelophylax nigromaculatus



平野から山地の水田、池沼、湿地に生息する。水稲栽培に生活がリンクし、水田に水が張ると産卵する。

水田環境



ヤマカガシ
(有鱗目ナミヘビ科)
Rhabdophis tigrinus

危険



平野から山地の樹林、草地、耕作地等に生息する。両生類等を捕食する。奥歯に毒を持つ。

ノウサギ
(ウサギ目ウサギ科)
Lepus brachyurus



平野から山地の樹林、草地、耕作地等に生息する。糞は、おまんじゅう型でわかりやすい。

草地環境

ニホンカナヘビ
(有鱗目カナヘビ科)
Takydromus tachydromoides



平野から山地の草地、樹林、耕作地等多様な環境に生息する。小さな昆虫類を捕食する。

ニホンリス
(ネズミ目リス科)
Sciurus lis



平野から山地の樹林に生息するが、低山帯のマツ林に多い。種子、果実、昆虫、小鳥の卵等を採食する。

タゴガエル
(無尾目アカガエル科)
Rana tagoi tagoi



山間部の樹林内に生息し、繁殖期には細流の礫間、水の滴る崖地で鳴き声が聞こえる。

樹林環境

タカチホヘビ
(有鱗目タカチホヘビ科)
Achalinus spinalis



淡紫色の光沢をもつ小型の美しいヘビ。山地の溪流沿いの湿ったガレ場、落葉下等に潜んでいる。

注意

毒を分泌するので触ると皮膚が炎症を起こします。触ってしまった場合は必ず手を洗ってください。

ニホンヒキガエル
(無尾目ヒキガエル科)
Bufo japonicus japonicus

危険



平野から山地の樹林、耕作地、住宅地等に生息する。早春に水溜まり、湿地、池沼等にひも状の卵塊を産卵する。

広域・人家周辺

ニホントカゲ
(有鱗目トカゲ科)
Plestiodon japonicus



平野から山地の草地、樹林、耕作地等に生息する。大型個体は全体が淡黄褐色となる。

シロマダラ
(有鱗目ナミヘビ科)
Dinodon orientale



白と黒のまだら模様のヘビ。平野から山地の乾燥した崖地、人工構造物等の隙間にもまれ、爬虫類を捕食する。

昆虫類 *Insects*



ヘビトンボ(幼虫)
(ヘビトンボ目ヘビトンボ科)
Protohermes grandis



河川上～中流域の流れのある砂礫底に生息する。成虫は夏にみられ、街灯に飛んでくる。別名:孫太郎虫。

アサヒナカワトンボ
(トンボ目カワトンボ科)
Mnais pruinosa



河川上～中流域の流れの緩やかな場所に生息する。成虫は初夏にみられる。

オナガサナエ
(トンボ目サナエトンボ科)
Melligomphus viridicostus



河川上～中流域のやや流れの速い砂礫底に生息する。成虫は夏にみられ、川面に突き出た石上によく止まる。

ダビドサナエ
(トンボ目サナエトンボ科)
Davidius nanus



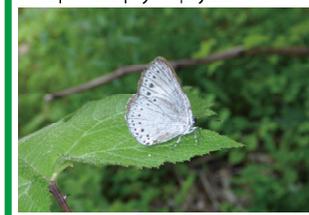
河川上～中流域のやや流れの速い砂礫底に生息する。成虫は初夏から夏にみられる。

オオムラサキ
(チョウ目タテハチョウ科)
Sasakia charonda charonda



日本の国蝶。山間部に生息し、谷間を飛ぶ。湿った環境に生えたエノキの大木に産卵する。

ウラゴマダラシジミ
(チョウ目シジミチョウ科)
Artopoetes pryeri pryeri



平野から山地に生息する。水辺に生育するイボタノキに好んで産卵する。成虫は初夏にみられる。

オモゴミズギワカメムシ
(カメムシ目ミスギワカメムシ科)
Macrosaldula shikokuana



山間部の溪流の大きな石や岩盤上に生息し、活発に動き回り、小さい昆虫類を捕食する。

ゲンジボタル
(コウチュウ目ホタル科)
Luciola cruciata



河川中流域の砂礫底に生息する。幼虫はカワニナを捕食する。成虫は初夏の夜によくみられる。

ウスバキトンボ
(トンボ目トンボ科)
Pantala flavescens



平野部の水田地帯、ため池等に生息する。毎年、東南アジアから日本へ渡ってくる。成虫は夏から秋にみられる。

アオスジアゲハ
(チョウ目アゲハチョウ科)
Graphium sarpedon



平野～山地に生息する飛翔力の強いアゲハチョウ。幼虫はクスノキ、ヤブニッケイの葉を食べる。

里山環境



河川環境

コオニヤンマ
(トンボ目サナエトンボ科)
Sieboldius albardae



河川上～中流域の砂礫底に生息する大型のサナエトンボ。成虫は夏にみられ、川縁の岩上によく止まる。

オジロサナエ
(トンボ目サナエトンボ科)
Stylogomphus suzuki



河川上～中流域の流れの比較的緩やかな砂礫底に生息する。成虫は夏にみられる。

オオアメンボ
(カメムシ目アメンボ科)
Aquarius elongatus



河川上～中流域の流れの緩やかな場所に生息し、水面に落ちた昆虫類を捕食する。最大のアメンボ。

テングチョウ
(チョウ目タテハチョウ科)
Libythea lepita celtoides



平野～山間部に広く生息し、幼虫はエノキを食樹とする。近年、各地で大量に発生している。

ハラビロカマキリ
(カマキリ目カマキリ科)
Hierodula patellifera



林の樹上や、林縁の草地にかけて生息する中型のやや太めのカマキリ。緑色型が多く、茶色や灰色等もいる。

魚類 Fishes

アマゴ
(サケ目サケ科)
Oncorhynchus masou



河川上流域に生息し、トビケラ、カゲロウ等底生生物を捕食する。降海型はサツキマスと言う。樺川では放流魚。

タカハヤ
(コイ目コイ科)
Phoxinus oxycephalus jouyi



河川上～中流域の比較的水温が低い場所に生息する。

源流部



流れの速い場所



アユ
(サケ目アユ科)
Plecoglossus altivelis altivelis



河川上～中流域に生息し、礫面の藻類をやすりのような歯で削り取って食べる。えらの後方に黄色紋を持つ。

カワヨシノボリ
(スズキ目ハゼ科)
Rhinogobius flumineus



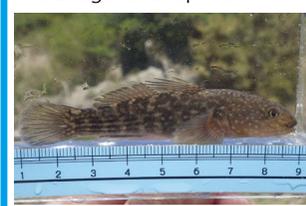
河川上流～中流の流れの速い場所から緩やかな場所まで広くみられ、肉食で主に水生昆虫、エビ類を捕食する。

ドンコ
(スズキ目ドンコ科)
Odontobutis obscura



河川中流域の流れの緩やかな場所に生息する。小魚、底生生物等を捕食する。

ヌマチチブ
(スズキ目ハゼ科)
Tridentiger brevispinis



河川中～下流・河口域の流れの緩やかな場所に生息する。底生生物、小魚等を捕食する。

カワムツ
(コイ目コイ科)
Candidia temminckii



河川の上・中流域の流れの緩やかな淵に多く見られる。附着藻類、落下昆虫、底生動物等を摂食する。

流れの緩やかな場所



オオシマドジョウ
(コイ目ドジョウ科)
Cobitis sp. BIWAE type A



河川中流域の流れが緩やかで砂が堆積している場所に生息する。

ギギ
(ナズ目ギギ科)

危険



河川上～中流域の石礫底に生息する。夜間に活動し、主に底生生物を捕食する。ひれにトゲを持つ。

オイカワ
(コイ目コイ科)
Opsariichthys platypus



河川の中・下流域、湖沼等に広く生息する。附着藻類、落下昆虫、水生昆虫、底生動物等を摂食する。

注意

毒のあるトゲが刺さるとやけどのような激しい痛みが続きます。転石の下や夜間の魚捕りは注意!

底生動物 Benthos



ムカシトンボ
(トンボ目ムカシトンボ科)
Epiophlebia superstes



山間部の森林に囲まれた溪流に生息する。幼虫は流れの速い瀬の礫間に潜む。成虫は5月頃に出現する。

ユモンヒラタカゲロウ
(カゲロウ目ヒラタカゲロウ科)
Epeorus nipponicus



河川上流域～下流域の流れが速い場所の石礫表面に生息する。春と秋の年2回成虫がみられる。

ヘビトンボ
(ヘビトンボ目ヘビトンボ科)
Protohermes grandis



河川上流域から下流域の流れのある石礫底に生息する。肉食で主に水生昆虫類を捕食する。

フタスジモンカゲロウ
(カゲロウ目モンカゲロウ科)
Ephemera japonica



山地溪流や平地溪流の流れが緩やかな場所にみられ、砂底に潜って生活している。

アサヒナカワトンボ
(トンボ目カワトンボ科)
Mnais pruinosa



平地の小流から山間部の源流域にいたる清流に生息し、水際の植物体、根際で幼虫がみられる。

ミナミヌマエビ
(エビ目ヌマエビ科)
Neocaridina denticulata



平野部の流れの緩やかな河川、ため池等に広く生息する。近年、外来種の侵入等により減少傾向にある。

オオマダラカゲロウ
(カゲロウ目マダラカゲロウ科)
Drunella basalis



河川上流域～下流域の水質が良好で、流れが緩やかな石礫底に生息する。



流れの速い場所

モンキマメゲンゴロウ
(コウチュウ目ゲンゴロウ科)
Platambus pictipennis



山地から平地の流水に生息し、淀みの石の下、水際のコケ中、植物根際等にみられる。

流れの緩やかな場所

トウゴウカワゲラの仲間
(カワゲラ目カワゲラ科)
Togoperla sp.



規模が小さな溪流や河川上流部の小さい流れ、源流域に生息する。比較的大型のカワゲラ。

トラタニガワカゲロウ
(カゲロウ目タニガワカゲロウ科)
Ecdyonurus tigris



山地溪流の細流、源流域の淵・淀みに生息する。成虫は5月下旬～7月に出現する。

レゼイナガレトビケラ
(トビケラ目ナガレトビケラ科)
Rhyacophila lezeyi



山地溪流に普通にみられるナガレトビケラの仲間。石礫表面を徘徊し、他の生物を捕食する。

サワガニ
(エビ目サワガニ科)
Geothelphusa dehaani



主に山間部の溪流に生息するが、樹林内でもみられ、雨天時には道路にもよく現れる。

シリナガマダラカゲロウ
(カゲロウ目マダラカゲロウ科)
Ephaceraella longicaudata



河川中流～下流域の淵や平瀬でみられ、落葉の堆積している場所、抽水植物帯に生息する。

ココニヤンマ
(トンボ目サナエトンボ科)
Sieboldius albardae



サナエトンボ科最大種。丘陵地から低山地にかけての河川中流域を中心に生息する。

植物が生育する場所

植物 Plants

森林やその他ダム湖周辺で
生える植物

シュンラン
(クサスギカズラ目ラン科)
Cymbidium goeringii



多年草。乾燥した林内に生育する。花期は3~4月。帯緑色~黄緑色の萼片を持つ。

オトコエシ
(マツムシソウ目スイカズラ科)
Patrinia villosa



多年草。日当たりのよい山野に普通に見られる。花期は8~10月。

多年草とは…

毎年、秋になると地上部は枯れるが、根が生きている間は春には茎や葉を伸ばす植物のこと。

フデリンドウ
(リンドウ目リンドウ科)
Gentiana zollingeri



越年草。山野の日当たりのよい場所に生育する。花期は3~5月。

コマツナギ
(マメ目マメ科)
Indigofera pseudotinctoria



落葉小低木。草地、土手、道端等、日当たりのよい、やや乾いた場所に群生する。花期は7~9月。

クサギ
(シソ目シソ科)
Clerodendrum trichotomum



落葉小高木(4~8m)。日当たりのよい林縁や沿海地に生育する。花期は7月下旬~9月。

アカマツ
(マツ目マツ科)
Pinus densiflora



常緑高木(25m)。ブナ帯以下の山地に生育し、土壌のやせた場所、乾燥地でもよく育つ。花期は4~5月。

ホオノキ
(モクレン目モクレン科)
Magnolia obovata



落葉高木(30m)。丘陵、山地に生育する。花期は5~6月。

コナラ
(ブナ目ブナ科)
Quercus serrata



落葉高木(20m)。日当たりの良い山野に生育する。花期は4月下旬。

アカメガシワ
(キントランオ目トウダイグサ科)
Mallotus japonicus



落葉高木(15m)。伐採跡、崩壊地、林縁等の明るい場所に生育する。花期は6~7月。



越年草とは…

秋に発芽し、冬を越して翌春に開花、結実、枯死するもの。



川の中に生える植物

カワモズクの仲間
(カワモズク目カワモズク科)
Batrachospermum sp.



河川上流域の水温が低く、比較的に日当たりのよい岩上に生育する。